放射能汚染水を流すな全国署名

東京電力ホールデイングス（株）代表執行役社長　小早川智明 様

東京電力は、福島第一原発の放射能汚染水を23年春にも海洋に放出しようとしています。東電は事故の責任を何一つ取っていません。そのうえまた漁業組合との約束を破って、海洋放出を強行しようというのです。タンクの増設など他の方法はいくらでも可能です。

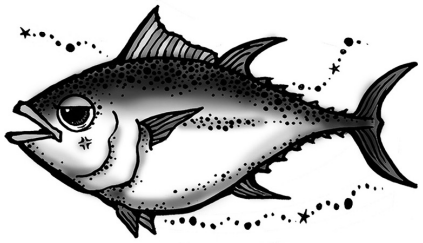
汚染水に含まれるトリチウムはわずか1ミリグラムで致死量、約2キログラムで200万人の殺傷能力がある猛毒です。薄めて流しても生物濃縮は必至で、水俣病では海や川へ流出したメチル水銀が100万倍もの濃度になりました。21年7月の広島「黒い雨」訴訟・確定判決は、内部被曝の危険性を法的に初めて断定しており、海洋放出は原発事故に続いて日本全国はもちろん世界中に被曝と健康被害を引き起こします。22年1月には、福島第一原発事故に伴う放射性物質の影響で甲状腺がんになったとして、当時、福島県に住んでいた17～27歳の男女6人が、東電に損害賠償を求める訴訟を東京地裁に起こしました。この必死の思いと行動に応えて、汚染水の海洋投棄をとめましょう。

東京電力に以下、要求します。

◎海洋放出方針を撤回すること

◎「薄めて流せば安全」の大嘘をやめること

◎東京電力は原発事故の責任をとれ



お名前	ご住所 （「同上」や「〃」で省略しないで下さい）

【署名呼びかけ人】石井真一（茨城県労組交流センター議長）／伊藤延由（飯舘村村民）／大江厚子（広島県安芸太田町―「黒い雨」当該地域―町会議員）／五條敦（とめよう戦争への道！百万人署名運動東京北部連絡会代表）／佐藤幸子／椎名千恵子（NAZEN ふくしま代表）／城臺美彌子（被爆者、NAZEN ナガサキ）／杉井吉彦（国分寺・本町クリニック院長、ふくしま共同診療所医師）／鈴木光一郎（全国農民会議共同代表）／関道利（国鉄千葉動力車労働組合執行委員長）／高山俊吉（弁護士）／武内更一（弁護士）／辻川あつ子（茨城県地域連帯労組委員長）／渡子健（NAZEN ヒロシマ呼びかけ人、被爆2世）／中島健（8.6 ヒロシマ大行動共同代表、反戦被爆者の会）／中道雅史（青森市民）／布施幸彦（ふくしま共同診療所院長）／洞口朋子（東京・杉並区議会議員）／間山正茂（南部バス労働組合委員長）／宮原亮（広島連帯ユニオン委員長、被爆3世）／室本けい子（広島・よもぎのアトリエ）／森川文人（弁護士）／吉沢正巳（希望の牧場・よしざわ）／渡辺瑞也（小高赤坂病院院長）

【署名集約先】〒167-0032
東京都杉並区天沼 2-3-7 さかいビル 2A
NAZEN事務局　fax.03-5930-6136
090-6658-1544 (北島)　nazen.info@gmail.com

取り扱い団体